

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	2	選択
担当教員			
前沢 知子			
G (現代ビジネス学科)	L (基礎科目)	HC (人間と文化)	102 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	この授業は美術をととして、表現方法とその影響、創造的なプロセスに関する知識を理解することを目指します。美術と他分野の学びを関連させながら、リベラルアーツ教育、STEAM教育の一環として、美術を学びます。
授業計画	第1回 【遠隔】 オリエンテーション 授業の進め方と課題 アートジャーナルの作成方法について 「Artの発祥」について学んでいきます。 予習：「自分の美術体験」をまとめてくる (120分) 復習：アートジャーナルの準備、授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第2回 【遠隔】 Artの歴史と文化① ヨーロッパ、アメリカのArtの歴史と文化について学んでいきます。 予習：教科書 (pp. 44-75) を読んでくる (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第3回 【遠隔】 Artの歴史と文化② アジア、アフリカのArtの歴史と文化について学んでいきます。 予習：教科書 (pp. 6-41) を読んでくる (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第4回 【遠隔】 現代のArt デザイン、現代美術について学んでいきます。 予習：教科書 (pp. 42-43, pp. 76-79) を読んでくる (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第5回 Artの要素とは Artの要素および絵画の見方について考えていきます。 予習：前回までの授業から「Artの要素」を考えて、アートジャーナルにまとめる (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第6回 【課題】 表現とは Artを通して見える表現力について学んでいきます 予習：前回までの授業から「表現」を考えて、アートジャーナルにまとめてくる (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第7回 様々な表現方法とその効力① 様々な表現方法の事例について学んでいきます。 予習：様々な表現方法のアート作品を探してくる (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第8回 【課題】 様々な表現方法とその効力② 様々な表現方法における効力について考えていきます。 予習：様々な表現方法のアート作品プランを考えてくる (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第9回 メディアとArt メディアとArtの関係について学んでいきます。 予習：配布資料を読んでくる (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第10回 【課題】 Artが与える影響 Artが与える影響について事例を通して考えていきます。 予習：前回までの授業から「Artが与える影響」について考えて、アートジャーナルにまとめてくる (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第11回 STEM教育からSTEAM教育 STEM教育からSTEAM教育の基礎的な考え方について学んでいきます。 予習：配布資料を読んでくる (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第12回 STEAM教育の実践① STEAM教育の実践について考えていきます。 予習：前回までの授業をもとに実践案をまとめてくる (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第13回 STEAM教育の実践② STEAM教育について、グループワークでの発表を通して考えていきます。 予習：実践案の発表のための準備・作成を行う (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第14回 Artから見た世界の多様性 世界の多様性についてArtの表現方法と事例を通して考えていきます。 予習：これまでの授業を振り返り、授業で扱った美術実践と方法論を整理する (120分) 復習：授業内容をアートジャーナルにまとめる (120分) 第15回 まとめ 講義内容の振り返り アートジャーナルの振り返り

	予習：授業を振り返り、授業で扱った美術実践と方法論を整理する（120分） 復習：授業の全体の把握と、アートジャーナルの意義について把握する（120分）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（現代ビジネス学科）の1項目を意識した科目となっている。 現代社会の情勢を理解しており、諸課題について主体的に考える姿勢を身に付けている。 【身に付くスキル】 思考力・創造的思考力
到達目標	1. 視覚芸術の性質を理解している。 2. デザインの原則を理解している。 3. 創造的なプロセスを理解している。 4. 複数の表現方法を試みることができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	授業の中で解説していきます。
履修上の注意	授業において、複数回少人数でのグループワークを行いますので、欠席しないように注意してください。期間を通してアートジャーナル（アート日記）をつけてもらいます。
成績評価の方法・基準	① アートジャーナル50% ② グループワーク40% ④ 学修意欲10%
教科書	『一冊でわかる美術史のきほん』 ISBN番号：978-4-536-60113-9 C3037 著者名：京都芸大鑑賞教育研究会／秀学者編集部 出版社：日本文教出版社 発行年：2019年 価格：1500円
参考書・教材	【参考書】『すぐわかる西洋の美術』 ISBN番号：8087-0697-0-C0070 著者名：宝木範義 出版社：東京美術 発行年：2000年 価格：2000円、『すぐわかる日本の美術』 ISBN番号：978-4-8087-0864-1-0-C0070 著者名：田中日左夫 出版社：東京美術 発行年：1999年 価格：2000円、『現代アート事典』 ISBN番号：978-4-568-43068-4 C3070 編集者：美術手帖 出版社：美術出版社 発行年：2009年 価格：2000円 【教材】アートジャーナル用のノートなど。500円程度
備考	講義科目 2020年度は、6、8、10回をを課題研究として学修する。 6回 「表現とは」について教員が指示したテーマについて、指示された情報源や方法でレポートを作成する。 7回の対面授業で指示や提出・発表などを行う。実作業全体で150分の学修を想定している。 8回 「様々な表現方法とその効力②」について教員が指示したテーマについて、指示された情報源や方法でレポートを作成する。9回の対面授業で指示や提出・発表などを行う。実作業全体で150分の学修を想定している。 10回 「Artが与える影響」について教員が指示したテーマについて、指示された情報源や方法でレポートを作成する。11、14回の対面授業で指示や提出・発表などを行う。実作業全体で150分の学修を想定している。
教員との連絡方法	Melly